

令和2年3月7日

保護者の皆様

青森県立青森聾学校
校長 相馬 純子

平成31年度 学校評価結果の概要のお知らせ

早春の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に深い御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施いたしました「学校評価の結果の概要」が下記のようにまとまりましたので、お知らせいたします。

学校評価の流れにつきましては、これまでと同様に、児童生徒、保護者に対するアンケート（学校・寄宿舎）を行い、その結果を踏まえ、教職員の自己評価を実施しています。また、2月に学校評議委員会において行われました学校関係者評価の結果も同時にお知らせいたします。

記

1 学校評価の結果概要

(1) 児童生徒アンケート

① 評価項目 13項目（学校及び学校生活について、授業について、先生について、学習態度・習慣について）

② 評価 「はい」または「いいえ」等の2者択一（10項目）、記述（3項目）

③ 回収率 100%（幼児を除き16名）

④ 結果

	評価項目	回答
1	「学校が好き」	はい：14名 いいえ：2名 はいの理由（ワード）：友達5名、勉強3名 いいえの理由（ワード）：勉強1名、部活1名
2	「分かりやすい授業」	国語4名、数学4名、理科3名、外国語・英語4名、社会1名、産業社会と人間1名、全教科2名、教科名記載無し1名
3	「分かりにくい授業」	数学2名、社会2名、生物・理科2名、美術1名、国語1名、なし8名
4	「気持ちを話す先生がいる」	いる：14名、いない：2名
5	「授業の時間は守られている」	はい：14名、いいえ：2名
6	「学校でいじめを受けていると 感じることもある」	ない：16名
7	「学校の様子を家で話す」	はい：9名、いいえ：7名
8	「あいさつをすすんで行う」	はい：15名、いいえ：1名
9	「交通ルールや学校の決まりを守っている」	はい：15名、いいえ：1名
10	「先生がくる前に授業の準備をしている」	はい：14名、いいえ：2名
11	「授業に一生懸命参加している」	はい：16名、いいえ：0名
12	「宿題をきちんと行っている」	はい：13名、いいえ：3名
13	「予習、復習をしている」	はい：10名、いいえ：6名
意見・要望		・テストについて 普通高校と同じように9教科あるので3日に分けて3教科ずつやるのはどうでしょうか？5教科を1日でやると混乱するので分けた方がいいと思います。

⑤総括及び改善策

子供たちの学校が好きな理由にも嫌いな理由にも友達との人間関係や勉強の分かりやすさが大きく影響しています。

子供たちが、楽しく充実した学校生活を過ごすためには、友達や先生とのよりよい人間関係づくりと分かる授業づくりが必須条件です。

宿題にきちんと取り組んでいると答えている児童生徒が多い一方で、およそ2割の児童生徒が宿題もきちんとできていないと回答しています。宿題以外の勉強を行っていない児童生徒も昨年度に引き続きまだ、全体の3分の1ほどいます。子供一人一人に応じて自主学習の取り組み方の指導を行ったり、チェック表を教師側が工夫したりする等して子供たちの意識の向上を図っていきます。

家庭においては、学校のことを話さないと答える生徒が高等部の75%を占めています。

学習や生活全般において保護者と連携を深めながら、指導を行っていく必要があります。

高等部生徒からのテストを分けて実施したいという要望に関しては、高等部生徒全員を対象にHRで話し合いを行わせました。二日間に分けて行うことで直前の勉強を分散させ、自主学習や一人勉強に励み合格できるように努力したいという生徒全員の思いを受け、3学期の期末考査では、二日間に分けて実施することになりました。来年度以降の実施については今年度末までに反省をし、考えていきたいと思っています。

(2)保護者アンケート

【学 校】

①評価項目 19項目（学習指導、生活指導、進路指導、PTA活動、安全・健康管理、環境・美化学校徴収金の管理等に関する項目）

②評 価 4点満点

（4：そのとおりである 3：おおむねそのとおりである 2：やや違う 1：違う）

③回収率 100%（26名）

④結 果 ア 各項目の平均値の最高 3.8（H30年度：3.6）

イ 各項目の平均値の最低 3.2（H30年度：3.2）

ウ 全項目の平均値 3.6（H30年度：3.4）

⑤意見・要望

- ・夏休みの家庭訪問ですが、なくても良いのではないかと思います。（以前から思っていたんですが）わざわざ来ていただくのは申し訳ないし、場所を把握するのは今は、ネットとかで調べられるのではないかと思います。
- ・もう少し人工内耳について勉強してほしいです。
- ・付き添いの同伴について。
- ・学校では、先生方、児童生徒全員が会うと挨拶をしてくれるのでとても気持ちがいいです。これからもずっと継続してほしいと思います。

⑥総括及び改善策

全項目を平均すると3.6であり、「おおむねそのとおり」以上でした。ほとんどの項目において昨年度より平均値が高くなっていました。一方で、11補聴器の使用や管理に関する項目が、昨年度より大幅に平均値が下降しています。保護者からの要望にもあるように専門的知識と補聴器や人工内耳の使用や管理に関する指導を徹底していく必要があると考えます。幼稚部においては、これまでも保護者やSTの協力を得て病院訪問を実施するなどしておりますが、さらに連携を深めていきたいと考えています。また全職員ともに校内外の研修に積極的に参加し、補聴器や人工内耳の使用や管理に関する知識を得たり技能を高めていきます。

また、家庭訪問に関しては、各学部ともに一年生時と学級担任が、替わった時にも実施させていただきたいと考えています。保護者の方の都合や状況に応じて、対応して参りますので、お気軽にご相談ください。

【寄宿舎】

①評価項目 15項目（生活指導、安全・健康管理、環境・施設設備、帰省帰舎・緊急時の対応、徴収金の管理等に関する項目）

②評 価 4点満点

（4：そのとおりである 3：おおむねそのとおりである 2：やや違う 1：違う）

③回収率 100%（10名）

- ④結果 ア 各項目の平均値の最高 3.8 (H30年度: 3.6)
 イ 各項目の平均値の最低 3.6 (H30年度: 3.0)
 ウ 全項目の平均値 3.7 (H30年度: 3.4)
 ⑤意見・要望

なし

⑥総括及び改善策

全項目を平均すると3.7であり、「おおむねそのとおり」以上でした。どの項目においても昨年度より大幅に平均値が高くなっています。今後も、舎生に寄り添いながら適切な環境のもと生活指導の充実に努めて参ります。

(3) 自己評価

【学 校】

- ①評価項目 29項目 (指導力向上について、支援計画や指導計画について、キャリア教育について、センター的機能について、学校運営について)
 ②評 価 4点満点
 (4: そのとおりである 3: おおむねそのとおりである 2: やや違う 1: 違う)
 ③回収率 100% (28名)
 ④結果 ア 各項目の平均値の最高 3.8 (H30年度: 3.8)
 イ 各項目の平均値の最低 3.2 (H30年度: 3.1)
 ウ 全項目の平均値 3.6 (H30年度: 3.4)
 ⑤意見・要望

- ・アンケートはペーパーレスがよいです。
- ・配布物はメールで配信してはどうか。
- ・12月のアンケートが多いので、整理できないものか。

⑥総括

全体的に昨年度に比較して高評価または、維持の傾向にあり、評価項目において、平均が3 (おおむねそのとおり) より低い項目はありませんでした。

一学期終了後、職員には、業務改善について意見を募り、業務の軽減や多忙化の解消に努めているところであります。今後も、ICT機器等の積極的活用を図りながら業務改善に努めて参ります。

【寄 宿 舎】

- ①評価項目 28項目 (指導力向上について、支援計画や指導計画について、キャリア教育について、センター的機能について、学校運営について)
 ②評 価 4点満点
 (4: そのとおりである 3: おおむねそのとおりである 2: やや違う 1: 違う)
 ③回収率 100% (9名)
 ④結果 ア 各項目の平均値の最高 3.9 (H30年度: 3.7)
 イ 各項目の平均値の最低 3.1 (H30年度: 3.0)
 ウ 全項目の平均値 3.5 (H30年度: 3.4)
 ⑤意見・要望

- ・学校運営について (5-1 5-8) … 共通理解には至っていないと思う。

⑥総括

全評価項目において平均が3 (おおむねそのとおり) 以上であり、全体の平均値も概ね横ばいまたは、昨年度より高い傾向にありました。評価項目において、平均が3 (おおむねそのとおり) より低い項目はありませんでした。

【学校】【寄宿舍】の総括及び改善策

学校、寄宿舍共に全体的に向上、維持の傾向にあります。

学校、寄宿舍職員の自己評価に共通して3.7以上の高評価だった項目は、4-1「早期教育相談及び多様な教育相談を実施している」、4-2「公開講座等聴覚障害への理解・啓発を図っている」、4-3「特別支援教育の啓発と推進のために他機関等と連携協議会を実施したり、地域や他校の要請に応じたりとセンター的機能を果たしている」のセンター的機能についての項目と、5-10「学校徴収金の使途の明確性、計画的な執行」、5-11「各種便りやホームページ等の活用」でした。

学校において、評価が0.3ポイント以上昨年度より高くなった項目としては、1-2「分かりやすい授業を目指し、授業改善に取り組んでいる」、3-3「社会的自立や職業的自立を意識し、進路に関する情報提供や適切なアドバイスを行っている」、5-1「学校課題が、職員間で共通理解され、達成に向けた取組が行われている」、5-9「いじめを見逃さないよう幼児児童生徒の学校生活の把握及び指導を行っている」でした。昨年より評価が低くなった項目はありませんでしたが、1-5「幼児児童生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着・向上」に関しては、昨年度より若干上昇しているものの、3.2ポイントと依然として低い傾向が続いています。幼児児童生徒の学力を向上させ、基礎基本を定着させるために実態把握を丁寧に行い、指導方法を工夫し研修を積み重ねていく必要があります。本校では、各学部共に授業改善を校内研究に位置づけて教員全体の授業力を高めるために努力しているところです。分かる授業の実践、子供の自己評価の実施、テストの実施方法の工夫、子供の実態に応じた学習の工夫、教科間、学部間の連携等に努めて参ります。

寄宿舍においては、昨年度より評価が0.3ポイント以上高くなった項目としては、1-5「基本的生活習慣の定着に努めている」、2-5「インフォームドコンセントの推進に努め、目標や指導計画の共有等、保護者支援の充実を図っている」、3-3「自治会活動など、生徒の主体的な活動を支援している」でした。昨年度より大幅に評価が低くなった項目はありませんが、2-2「生徒の課題を焦点化し、的確な指導仮説・方針の設定している」の項目が3.1となっており、生徒の課題を職員間で共通理解の上焦点化し、指導方法を検討していく必要があると考えます。寄宿舍指導員間で舎生全員の共通理解を日頃から行い、実践研究として個々の課題解決に向けて取り組みながら指導方法を検討していきます。

2 学校関係者評価(令和2年2月1日に実施)

(1)教育活動について

・全国レベルの大会での表彰を受けた際の教育長への表敬訪問等大変よいことである。子供にとって様々な場へ出ることが大事である。校長が生徒を引率することとても大切なことである。

(2)保護者との連携について

・夏休みの家庭訪問について保護者から意見があるが、子供の生活状況をつかむためには必要である。子供は親に学校のことを伝えないこともあるので、家庭訪問をきっかけに、子供と親の意思疎通を図ってほしい。

(3)学校経営について

・職場にビジョンがあると仕事がしやすいと思う。当たり前のことを当たり前に、きちんとできれば素晴らしい。この当たり前がなかなかできない。当たり前が何なのか理解してほしいと思う。永遠のテーマとも思う。

(4)キャリア教育の充実

・効率を求めるのではなく、子供たちが言われたことを理解できるようにすることと、結果や成果を大事にしてほしい。

(5)地域における特別支援教育のセンター的機能の充実

・特別な支援を要する子供の保護者が子育てについて前向きに考えることができない状況もある。園では幼児の時から支援したいと思うが、親に掛ける言葉を間違えると、退所につながることもある。保育士たちにはその年齢の子供の発達の基本や発達過程を理解した上で、子供たちと活動することが大切だと思う。

☆近日中に児童生徒アンケート、保護者アンケート、寄宿舍に対する保護者アンケート、学校自己評価、寄宿舍自己評価のそれぞれの詳細な集計結果をホームページに掲載しますので、そちらも御覧ください。